

令和5年度 国府南小 学校経営計画

- 1 東陽ブロック小中一貫教育の目指す子ども像
人とつながり、地域とつながり、自分の力で未来を切りひらく東陽の子ども
- 2 東陽ブロック小中一貫教育の重点目標
 - 多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成
 - 多様な人との交流を通して自他の存在を尊重し、ともに成長する子どもの育成

3 教育目標

進んで勉強する子 (やる気)	→	確かな学力の育成
心の豊かな子 (思いやり)	→	豊かな心の育成
元気でたくましい子 (根気)	→	健やかな体の育成

栃木市の名誉市民である山本有三先生の精神「生命・人権尊重」を基盤におき、児童一人一人が自分のもっている良さや可能性を生かし、社会の変化に主体的・創造的に対応できる実践力を身に付け、自分の力で未来を切り拓くことができる、豊かでたくましく生きる児童の育成を目指す。

- 4 めざす児童像
太陽にはばたく子 … 自己の可能性を求め、理想に向かって躍動する児童
(児童昇降口のレリーフ)
- 5 めざす学校像
 - 児童 … 楽しく学べる学校
 - 保護者・地域 … 信頼できる学校
 - 教職員 … 協働の喜びあふれる学校
- 6 めざす教師像
 - 児童に … 優しく
 - 同僚に … 真摯に
 - 保護者・地域に … 誠実に
 - 自分に … 厳しく

7 スローガン

楽しく勉強 みんななかよし 元気あふれる みなみっ子

8 学校経営方針

- (1) 小規模校の特性を生かし、全職員・全児童担任をモットーに、児童一人ひとりが尊重され、互いを認め合い、励まし合いながら、それぞれの個性や能力が発揮できる「居がいのある学校」づくりに努める。
 - ① 基礎基本の学習指導の徹底、楽しく分かる授業の展開と個に対応した指導の充実 (ICTの活用やユニバーサルデザインの視点を重視した授業の実践)
 - ② 一人一人の活躍の場やお互いに認めあえる場の設定
 - ③ 教えて育てる道徳教育の実践
 - ・人としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を育むために、「教えること」と「育てること」をともに大切にしながら、互いに関連付けて指導する教育活動を推進する。
- (2) 全職員が一丸となって教育目標の達成を目指し、小規模校ならではの活力ある教育活動の展開に努める。
 - ① 全職員の経営参画による創造的・主体的な教育活動の推進
 - ② 異年齢集団活動の充実
- (3) 教師力を高め、子どもとともに歩み、ともに成長する教職員集団を目指す。
 - ① 授業力向上のための校内研修等の充実
 - ② 教職員評価制度等を活用した教職員の資質向上と指導力の向上
 - ③ 各種外部研修等への積極的な参加
- (4) 学校と家庭、地域との連携を密にし、子どもたちのよりよい成長のために家庭・地域とともに歩む、地域とともにある学校づくりに努める。
 - ① コミュニティ・スクールとしての機能を充実させるための学校を核とした取組 (地域各種団体との連携・ふるさと学習の充実・アシストネットの活用・oneclassプロジェクトの推進)
 - ② 学校運営協議会での協議や学校評価の活用
 - ③ 積極的な情報発信 (学校便り、ホームページ、公式ツイッター等の活用)
 - ④ 東陽ブロック小中一貫教育の充実

